

令和4年度 南区地域福祉アクションプラン 地区別計画 進行管理表

○新飯田地区・・・1～2

○茨曾根地区・・・3～4

○庄瀬地区・・・5～6

○小林地区・・・7～8

○臼井地区・・・9～10

○大郷地区・・・11～12

○鷺巻地区・・・13～14

○根岸地区・・・15～16




○大通地区・・・17～18

○白根地区・・・19～20

○味方地区・・・21～22

○月潟地区・・・23～24

【令和4年度 新飯田地区】 第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容) ※()は推進目標	課題(取り組んでみての)
① アクションプラン 6/13 (地区別計画全体) ② 新飯田地区防災訓練 7/3 (防災) ③ 支え合いのしくみづくり講演会 (支え合い) ④ 緊急情報キット配布(見守り) 配付期間 10~11月 配布数 99個 (支え合い) ⑤ 在宅訪問(見守り) 12/3 対象者 17人 (支え合い) その他	・白南中の生徒で考えたアクションプランの取り組みについて、既に新飯田地区で実施している内容もあるため、今後コミ協でできることを検討していく ・高齢者や地域の方が集まって交流できる場所が少ない地域で集会所を利用して交流できる場所を作っていく必要がある
⑥ にいだ祭り 6/10~11 ⑦ 小学校・地区合同運動会 5/22 ⑧ ふれあい健康ウォーキング 6/19 ⑨ ふるさとキャンプ 9/24~25 ⑩ お寺であそぼう! 10/30 ⑪ 楽しいクリスマス 12/15 (多世代交流、参画推進)	評価(取り組んだことの効果や成果) ・コロナ禍でも感染予防対策をしながら見守り訪問活動に取り組むことができた ・にいだ祭りや3年ぶりに開催した小学校・地区民合同大運動会を通じて地域で多世代交流ができた
写真(取組みの様子)	新たな地域課題や取り組んだこと
<div style="text-align: center;">  <p>支え合いのしくみづくり講演会</p>  <p>新飯田地区防災訓練</p>  <p>アクションプラン評価会議</p> </div>	・区内の希望者に配布した緊急情報キットについて、記入内容に変更があれば随時更新が必要だが、その確認をどのようにしていくか検討が必要 次年度への引き継ぎ ・災害時の取り組みは次年度以降も継続して取り組んでいく ・コロナ禍も収束に向かいできるところから地域活動の再開を検討していく ・各自治会にもアクションプランや支え合いの必要性を説明する機会を設けながら連携していく

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和5年2月13日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

コミュニティ協議会:齋藤会長
 地区社会福祉協議会:小林会長
 (地域福祉アクションプラン推進委員)
 自治会長協議会:千野会長
 センター:山崎様、小杉様
 支え合いのしくみづくり推進員 :吉村 SC
 南区社協 :土田、荏原

計8名

【令和4年度 茨曾根地区】 第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容) ※()は推進目標	課題(取り組んでみての)
<p>(支え合いのしくみづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庚自治会地域のお茶の間「庚いきいきサロン」新規開設 ・白根高校探求の授業・茨曾根の地域課題解決策を考える活動の支援 <p>10/22 茨曾根フェスティバル/1/21 茨曾根どんど焼きと住民参加のアイスキャンドルイルミネーション</p> <p>(子どもたちを地域で育てる取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨曾根フェスティバルでの子どもたちの演劇上演 ・茨曾根子ども音楽講座・子どもバンド演奏実施 ・白南中学校総合学習「大好きにいがた 2022」中学2年生による茨曾根地区提案事業の立案 ・子ども子育て応援リーフレット作成・全戸配布 ・老人クラブと子どもの交流・五九朗会畑収穫事業 <p>(防災減災の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月モデル自治会の防災研修・視察研修 ・7月下茨自治会災害時安否確認訓練実施 ・10月地区全体訓練と全自治会対象防災アンケート実施 ・11月茨曾根地区自治会別防災マップ作成 <p>(情報の発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協だより、生活センターのイベント写真掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・各イベント後にアンケートを実施し、地域福祉アクションプランの一環で実施していることの周知が必要だった ・活動事業には推進役が必要だが、次世代の育成が課題である ・地区の特徴として年中農業が忙しくボランティア活動に手が回らない。担い手育成が課題 ・地域の茶の間のさらなる推進が必要 ・防災アンケートを生かし、自治会で安否確認体制をつくるのが次の課題となる ・地域で活躍する防災士の育成 ・子ども達の自己肯定感を育てる活動や主体的取り組みの支援を継続する必要がある
<p>写真(取組みの様子)</p>	<p>評価(取り組んだことの効果や成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災アンケートを全自治会で実施したことで、地域住民の状況が分かり気配りできる意識が高まった ・子どもに関する活動事業に力を入れたことで、地域住民の参加が促進され、子ども達を地域で見守る意識が高まった
<p>庚いきいきサロン</p>  <p>防災視察研修</p>  <p>茨曾根フェスティバル</p> 	<p>新たな地域課題や取り組んだこと</p> <p>次年度への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域事業を通じた地域の一般住民への地域福祉アクションプランの理解促進 ・集まる機会をつくり顔の見える関係づくりを継続し、定期的な参加の場をつくる必要がある ・次世代の地域活動推進役の発掘と地域活動の担い手の育成を行う必要がある ・防災アンケートを活用した自治会内の安否確認体制づくりを行う ・地域で活躍する防災士の育成 ・子ども達の自己肯定感育成と主体的な取り組みの支援の継続(白南中学生徒提案事業の実施)

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和5年2月15日>


No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

茨曾根地区自治会長会	井上会長
茨曾根地区社会福祉協議会	川越会長
茨曾根地区自主防災会	藤井会長
茨曾根地区地域福祉アクションプラン推進委員	上杉委員
白南白根第一圏域地域支え合いのしくみづくり推進委員	吉村 SC
南区社会福祉協議会	秋山・荏原

【令和4年度 庄瀬地区】 第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容) ※()は推進目標	課題(取り組んでみての)
<p>① 5月アクションプラン打ち合わせ(AP全体)</p> <p>② 「お花見ウォーキングクイズまつり」は現白南中3年生の“大好きにいがた”アイデアのもと実施(支え合いのしくみづくり)</p> <p>③ 9月~1月“大好きにいがた”白南中2年生総合学習実施(若い世代との交流)</p> <p>④ 農村公園祭り(若い世代との交流)</p> <p>⑤ 文化祭:よさこい復活(若い世代との交流)</p> <p>⑥ 保健推進員の立ち上げ(組織強化) 茶の間で3B体操 オンラインウォーキング講座 お花見ウォーキング</p> <p>⑦ 民生委員と自治会長との座談会(支え合いのしくみづくり)</p> <p>⑧ 消防団と自治会防災担当者が全戸訪問 防災啓発・消火器の確認ととりまとめ購入 白南中学校の防災講座(防災の取り組み)</p>	<p>○移動支援・生活支援に関して ・今年度から開始するスケジュールでいたが、アンケート調査のみになった。取り組めなかった状況を振り返り、次年度は実践的な取り組みを行う</p> <p>○防災関係について ・消防団は災害時に、他地域に派遣され不在の可能性があるので消防団以外の若者や子どもにもっと防災を意識してほしい</p> <p>○ひきこもりや8050課題について ・高齢者だけではなく、中間層の年代、子どもたちの情報が分からなく、不登校などのこどもたちの支援を考えていかなければならない</p> <p>○担い手育成 ・保健会の組織がなくなり、若い人たちの育成が必要 ・多世代交流の手法は分析していかなければならない ・コロナ禍で気軽な近所付き合いが減少している</p> <p>評価(取り組んだことの効果や成果)</p> <p>・白南中の今年度のアイデアは、コミ協の役員に伝えていき、来年度の事業に活かしたい</p> <p>・コロナ禍でもイベントを開催することができ、参加メンバーもたくさんの方が来るため、多世代間交流ができている</p> <p>・公共施設の再編のこともあり、白南地区が意見交換機会が増え、目指す子どもの姿を共有するようになった。</p>
<p>写真(取組みの様子)</p>  <p>民生委員と自治会長との情報交換会</p>  <p>消防団の見守り訪問</p>  <p>白南中の取り組み</p>	<p>新たな地域課題や取り組んだこと</p> <p>・子どもたちや中高年層のひきこもりなどの情報共有をしていきたい</p> <p>次年度への引き継ぎ</p> <p>・大好きにいがたの提案実現に向け、コミ協へPRする。また、AOと地域事業の関係性を意識づける。</p> <p>・生活支援の立ち上げ</p> <p>・避難所運営委員会が立ち上がったなら自主防災会、施設管理者、自治会等との連携し、1歩先の防災意識向上を目指す</p> <p>・防災活動において中学生との関りを強化する</p>

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和 5 年 2 月 15 日>


No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

コミ協会長:田中様、地区社協会長:中丸様、
民生委員代表:藤井様、アクションプラン推進員:西山様
南区社協(荏原、熨斗)

【令和4年度 小林地区】 第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容) ※()は推進目標	課題(取り組んでみての)
<p>(支え合いのしくみづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度より、地域住民の移動の課題解決のため、福祉施設の車両を活用しての買い物移動支援実施に向けての検討を重ねてきた ・買い物移動支援開始にあたっての諸手続きを関係各所と連携しながら進めた ・6月からの買い物移動支援の実施:月2回 2月までの利用回数:10回 ・お助け隊小林の推進:随時 2月までの利用回数:28回、主な内容は除草と除雪 ・地区社協の見守り活動事業の継続 なじらね春・夏・秋・冬:計4回 在宅福祉対象者への訪問活動 ・2/9 卓球大会 ・3/5 ひなまつりコンサート開催 <p>(防災・減災の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の活動では、A4冊子版の小林地区防災マップを作成、全戸配布した <p>(情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月12日、小林自治会協議会 地域福祉アクションプランと支え合いのしくみづくりの説明会開催 	<p>○お助け隊小林について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ会員に活動が集中する傾向あり、多くのメンバーが活躍する場をつくり、活動のすそ野を広げる取り組みが必要 ・支援する側も高齢化、サポート側の年配者から若い人までの重層化を検討する必要がある <p>○課題が地域から上がりやすい仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民に身近な自治会ごとに地域課題を拾えるよう、自治会長への地域活動の説明が必要 <p>○関係機関との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要時だけでなく、改めて専門職と民生委員などの地域の役員の情報共有の機会が必要 <p>○障がい者の理解促進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況下でふれあいの機会が作れていないが、次年度は工夫して実施していく
<p>写真(取組みの様子)</p>	<p>評価(取り組んだことの効果や成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況下でも、訪問活動などのできる活動に取組めたこと ・区内で初めて買い物移動支援に挑戦し、軌道に乗せることができた ・お助け隊のニーズの多い除雪の活動では助成金を活用し対応を強化してきた
 <p>なじらね秋(訪問活動)</p> <p>買い物移動支援スタート</p> <p>アクションプラン評価会議</p>	<p>新たな地域課題や取り組んだこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通院のニーズについては地区内に多いと推測されるが、取り組みのハードルが高く検討継続となっている <p>次年度への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くのお助け隊小林の登録会員が活動に参画できる工夫をする(通信を出す、交流会等) ・次世代のお助け隊はじめ地域活動への参加を促す ・住民に身近な自治会組織への地域活動の必要性啓発を継続する ・専門職や関係機関と地域の役員との情報共有の機会を持つ

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和5年2月9日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

コミュニティ協議会:小田会長・青木副会長・佐久間健康福祉部長

地区社会福祉協議会:高井会長

民生委員:小林さん、久住さん、竹ノ内さん、明村さん

地域福祉アクションプラン推進委員 :西村委員

支え合いのしくみづくり推進員 :吉村 SC

南区社協 :秋山、土田

計 12 名

【令和4年度 臼井地区】 第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容) ※()は推進目標	課題(取り組んでみての)
<p>① 8月アクションプラン打ち合わせ(AP全体)</p> <p>② 10月臼井中学校 多世代交流会(既存の事業の活発)</p> <p>③ 10月狸の婿入り(既存の事業の活発)</p> <p>④ 12月茶の間こころむすびプチクリスマスコンサート(既存組織を大切に育てるとともに連携)</p> <p>⑤ 2月燻製教室、アクションプラン及び支え合いのしくみづくり勉強会(支え合いのしくみづくり)</p>	<p>○防災の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会がもう少し機能すると良かった。役員の交代があり、難しい面が多かった。 ・来年度の組織体制を検討していきたい。 <p>○既存の事業の活発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りや会議は、顔ぶれが同じである。担い手の育成や組織体制を考えていく必要がある。 ・コロナ禍で住民同士の交流が希薄化である。障がい者施設との交流もなくなったが、災害が起きた時などのことを踏まえ、交流を再開していきたい。
写真(取組みの様子)	評価(取り組んだことの効果や成果)
 <p>臼井中学校多世代交流</p>	<p>○既存の事業の活発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であったが、3年ぶりに狸の婿入りが開催できた ・地域の中でまつりを行うと、地域の活性化につながり、子どもも大人も楽しんでいた様子だった。 ・茶の間こころむすびと地域とのつながりが持てるようになった。クリスマスコンサートは、中学生も参加し、多世代交流につながった。
 <p>狸の婿入り</p>	<p>新たな地域課題や取り組んだこと</p>
 <p>こころむすびクリスマスコンサート</p>	<p>次年度への引き継ぎ</p>
 <p>食育教室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の取り組みで、障がい者施設との交流を行う顔の見える関係性を作る ・防災出前講座を行い、机上訓練から地域訓練を行っていきたい。アンケート調査などできるところから計画する。 ・地域の見守りや顔の見える関係性がつくれるよう、支え合いのしくみづくりを進めていく。

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和 5年 1月 30日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>




コミ協会長兼アクションプラン推進員:豊木様

地区社協会長:遠藤様

第2層支え合いのしくみづくり推進員:川口様

南区社協:秋山、熨斗

【令和4年度 大郷地区】 第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容) ※()は推進目標	課題(取り組んでみての)
<p>① 5月アクションプラン打ち合わせ(AP全体)</p> <p>② 5月大郷・鷲巻合同防災講座(災害への取り組み)</p> <p>③ 6月中大郷茶の間開催 助けあいゲーム(支え合いのしくみづくり)</p> <p>④ 12月ホッカイロ配布事業(支え合いのしくみづくり) 民生委員×自治会長で80歳以上の高齢者世帯に配布</p> <p>⑤ 1月4地区合同どんど焼き(多世代間交流)</p> <p>⑥ 2月「なじらてえ~の集い」 「中野小路たかまろさんのおもっしえー お話」 参加人数:41名(支え合いのしくみづくり)</p> <p>⑦ 1月「心配な方についてのアンケート調査」 回答者:大郷地区民生委員(支え合いのしくみづくり)</p>	<p>○中大郷茶の間となじらてえ~の集いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板で案内をしても、茶の間に行く足の課題や声をかけが必要である <p>○ホッカイロ配布事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者名簿を基に配布しているが、世帯主と名簿登録者が違うこともあり、配布時に確認する必要があった ・6月と11月に行政から名簿が配布されるが、亡くなったり入院したり変化があるため、タイムラグがある <p>○心配な方のアンケート調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居の40~60代が増えてきている ・まったく近所付き合いもない方もいるため、今後が心配 <p>○行事やイベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代との交流が希薄である ・参加者や役員も同じ人になってしまっているため、担い手育成が必要
写真(取り組みの様子)	評価(取り組んだことの効果や成果)
 <p>中大郷茶の間</p>  <p>大郷鷲巻合同防災講座</p>  <p>なじらてえ~の集い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・茶の間のプレ開催をした結果、久しぶりに地域の方に合う機会があり、楽しんでいただけた様子だった。コミ協として毎年開催していきたい ・どんど焼きでは、初めて大郷地区も参加したが、地域同士の交流がうまれた ・防災講座は、今後も続けていきたい <p>新たな地域課題や取り組んだこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所体験等、実際に避難訓練を行いたい <p>次年度への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なじらてえ~の集いを継続し、顔の見える関係づくりを行う ・防災講座の継続(避難所体験やハザードマップなど1歩進んだ防災講座)

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和 5 年 2 月 14 日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	B
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

コミ協会長:小柳様、コミ協副会長兼民生委員:富樫様
 地区社協会長:遠藤様、民生委員:小池様
 アクションプラン推進員:長谷川様、南区社協(熨斗)

【令和4年度 鷲巻地区】 第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容) ※()は推進目標	課題(取り組んでみての)
<ul style="list-style-type: none"> ・鷲巻アクションプラン打合せ 6/1 ・民生児童委員と管轄地域の自治会長並びにコミ協役員情報交換会によるアクションプランについての説明 12/11 ・その他 ①保育園並びに地域での世代間交流の実施(通年) ②大郷・鷲巻地区防災講座 5/28 ③コミュニティカフェわしのきの開催(隔月1回) ④認知症講座の実施 ⑤自治防災訓練、高齢者等見守り配食サービス 	<p>課題(取り組んでみての)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流会では活動日や地域での農繁期等を考慮すると参加者が固定され、参加人数も限られる。 ・活動内容の工夫も検討しているが、コロナ禍で感染者も落ち着かない中で活動の幅も制限される。 <p>評価(取り組んだことの効果や成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍がまだ続いているが世代間交流、スマイルウオーク、防災訓練などは自治会等の関係機関と引き続き、連携して取り組むことができた。 ・昨年度から開催しているコミュニティカフェも様々な企画を考えながら地域内での交流ができています。
写真(取組みの様子)	新たな地域課題や取り組んだこと
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>情報交換会の様子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>配食サービス</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>大郷・鷲巻地区防災講座</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>自治防災訓練</p> </div> </div>	<p>新たな地域課題や取り組んだこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜遊歩道公園に LED ランタンを設置して桜のライトアップを実施し、桜を見に来られた方を楽しませた。 <p>次年度への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も世代間交流等地域交流は継続しながら参加者で喜びを共有し、地域の繋がりを深めていく。 ・コロナ禍で感染者数の増加などで開催できていない映画鑑賞会も開催方法を検討し次年度以降開催する方向で考えたい。 ・配食サービスでの見守り活動や情報交換会を通じて地域の状況を把握して認知症講座の開催など今後の地域活動に取り組んでいく。 ・災害を想定した実践的な訓練を重ねながら自治会や地域全体で連携して取り組む。

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和4年11月30日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	B
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

コミュニティ協議会:羽貝会長
 地区社会福祉協議会:宮崎会長
 地域福祉アクションプラン推進委員 :安達委員
 支え合いのしくみづくり推進員 :川口 SC
 南区社協 :土田、荏原

計6名

【令和4年度 根岸地区】 第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容) ※()は推進目標	課題(取り組んでみての)
<p>①7月 75歳以上高齢者に関するアンケート調査</p> <p>②8月 上記アンケートの取りまとめ作業 75歳以上高齢者 510名強を把握</p> <p>③8月 一人暮らし高齢者の訪問活動</p> <p>④9/16~18 敬老事業 253名の75歳以上へ祝い品を自治会長が配布 (①~④:支え合い・防災)</p> <p>⑤9/20 自主防災会打合せで地域福祉アクションプランと支え合いのしくみづくりの説明会 (地区別計画全体・支え合い)</p> <p>⑤10/2 防災訓練 災害時避難行動要支援者の世帯へ自治会で全て顔を出して確認、顔の見える関係づくり (⑤:防災・支え合い)</p> <p>⑥12月 一人暮らし高齢者の訪問活動 (支え合い)</p> <p>⑦1月 根岸小学校福祉教育 (人材育成)</p> <p>⑧1月 4地区合同どんど焼き(若い世代参画交流)</p> <p>⑨年間通して 地域の茶の間への支援(支え合い)</p> <p>⑩子供のお金教育にもなるひまわりクラブへのおもちゃや本の寄付 (人材育成)</p> <p>⑪安心袋支給事業 (支え合い)</p>	<p>・あやめ祭りに代わる、地区全体での世代間交流の開催</p> <p>・コロナの状況下、人が集まることへの住民の考え方の差が広がっており、集まることに関する知識を知る必要がある</p> <p>・困っていても声を出せない人や困りごとをどこに相談すればいいかわからない人につながる方法</p> <p>評価(取り組んだことの効果や成果)</p> <p>・コロナの状況下であるが地区社協の訪問事業の継続と共に、敬老事業を訪問型で実施するなど工夫して実施することができた</p> <p>・敬老事業のアンケートを通し、地区内の高齢者の状況が分かった</p> <p>・自治会長が全ての活動事業に協力し、地域を知るきっかけとなった</p>
<p>写真(取組みの様子)</p>	<p>新たな地域課題や取り組み</p>
<p></p> <p>9/20 地域福祉アクションプラン・支え合いしくみづくりの説明</p> <p>1月根岸小学校福祉教育</p> <p></p>	<p>【新たな課題】</p> <p>・コロナの状況下、人が集まることについての地域住民の考え方の温度差が広がってきている</p> <p>・困っていても声を出せない人や困りごとをどこに相談すればいいかわからない人、地域の中で孤立している人がいる</p> <p>次年度への引き継ぎ</p> <p>・地区全体での世代間交流事業継続の検討を行う必要がある</p> <p>・コロナの状況下で人が集まる時の安全な会合の方法、感染予防対策について学ぶ必要がある</p> <p>・孤立している人を把握し支え合う一歩として自治会長と民生委員の情報共有の機会を作ると良い</p>

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります



<確認日:令和5年1月17日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>	
コミュニティ協議会	:高橋会長
自治会協議会	:高井会長
地区社会福祉協議会	:柄沢会長
支え合いのしくみづくり構成員	:横山委員
支え合いのしくみづくりの活動者	:大矢さん
地域福祉アクションプラン推進委員	:丸井委員
臼井・白根北圏域支え合いのしくみづくり推進員	:川口 SC
南区社会福祉協議会	:秋山

【令和4年度 大通地区】 第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容) ※()は推進目標	課題(取り組んでみての)
<ul style="list-style-type: none"> ・4/8 大通コミ協自主防災会(防災・支え合い・つながり) ・5/10 大通地区子ども食堂打合せ(住民参画・支え合い・つながり) ・5/15 大通安心安全会議(防災・支え合い・つながり) ・5/21 大通西自治会役員会ふれあいネットワーク説明会(支え合い・つながり) ・5/22 大通ふれあいの集い(つながり) ※一人暮らし高齢者や障がいのある方と家族等の交流の集い ・6/5 大通防災講座(防災・つながり) ・6/21 はじめまして赤ちゃん！事業(つながり) ・7/25 地域福祉アクションプラン打合せ(計画全体) ・10月高齢者見守り事業(つながり・支え合い) ・10/2 認知症理解の啓発事業(つながり・支え合い) ・10/25 はじめまして！赤ちゃん事業(つながり・支え合い) ・11/28 障がい者理解のための講演会(つながり) ・12月安心袋配布事業(つながり・支え合い) ・子ども防災教室・地域センター花植え活動(住民参画) ・ちょこっとボランティアの発掘(住民参画・つながり) ・思いやりネットの活動継続・ニーズの検討(支え合い) ・徘徊ネットワークのチラシを自治会長へ配布(支え合い) 	<p>課題(取り組んでみての)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員でない住民に包括支援センターとのつながりの機会をつくれると良い ・徘徊ネットワークについてはいざというとき生きるシステムにしていく必要がある ・ボランティアのすそ野を広げる地道な取り組みは継続していく必要がある ・地域福祉アクションプランについて、自治会や地域住民に知ってもらおう働きかけがもっと必要である <p>評価(取り組んだことの効果や成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域センター秋祭りにコミ協協力会の方や思いやりねっと登録者の方を誘い、自然に地域住民がボランティア参加できる工夫をした ・高齢者世帯が増え、つながりが希薄化している問題に対しては「ボッチャ」や「畑の支え合い」等新たな取組を行った ・防災についての学びから地域の支え合いの大切さを啓発することができた ・継続事業もアクションプランの目標に沿う内容を取り入れ工夫して実施できた ・コロナ禍でも地域事業に前向きに取組み、子ども食堂等新たな活動につながる検討ができた
<p>写真(取組みの様子)</p>	<p>新たな地域課題や取り組んだこと</p>
<p>6/5 大通防災講座</p>  <p>6/21 はじめまして！赤ちゃん</p> 	<p>子ども食堂について実施を検討し、役員を中心に研修会を行った</p> <p>次年度への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徘徊ネットワークを役員はじめ地域の方にシステムとして根付けるようにしていく ・役員だけでなく地域住民への、相談機関の周知や認知症の啓発ができると良い ・思いやりネットの支援の中で、買い物支援など「移動」に関する支援の検討を続ける ・ボランティアのすそ野を広げる活動の継続 ・アクションプランの地域住民への周知啓発

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります


<確認日:令和5年1月13日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	B
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	B
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>	
コミュニティ協議会	: 鞠子会長
防災士の会	: 棚村会長
自主防災会	: 鈴木会長
地域福祉アクションプラン推進委員	: 町屋委員
支え合いのしくみづくり推進員	: 川口 SC
南区社協	: 秋山、熨斗
	計7名

【令和4年度 白根地区】 第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容) ※()は推進目標	課題(取り組んでみての)								
<p>① 5月アクションプラン打ち合わせ(AP全体)</p> <p>② 9月敬老会(高齢者見守り活動)</p> <p>③ 10月生活支援立ち上げの打ち合わせ(支え合いのしくみづくり)</p> <p>④ 10月北部中部南部合同防災訓練開催(災害への取り組み)</p> <p>⑤ 10月白根地区社協配食サービス(高齢者見守り活動)</p> <p>⑥ 11月生活支援立ち上げの打ち合わせ(支え合いのしくみづくり)</p> <p>⑦ 1月白根お互いさま支援隊:除雪作業の問い合わせ3件(支え合いのしくみづくり)</p> <p>⑧ 3月白根地区社協配食サービス(高齢者見守り活動)</p>	<p>○白根お互いさま支援隊立ち上げについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援の立ち上げをしたいと考えていた結果、立ち上がりよかったが、組織体制が整っていなかった。そのため、年明けの大雪で相談があったが、すぐに対応することが難しかった。 ・市へゴミ出し支援の助成金も進めているが、名簿作成等に時間を要している。 <p>○防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災連合会があるため、自主防災へ、実際の避難所運営など具体的に取り組みを行う必要がある。 <p>○民生委員活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉改選があったため、自治会長や住民への周知をする必要がある。民生委員によっては、自治会を跨いで担当している方もいらっしゃるため、顔の見える関係性を作りたい。 								
写真(取組みの様子)	評価(取組んだことの効果や成果)								
<div data-bbox="119 1176 730 1563">  <p>生活支援立ち上げ</p> </div> <div data-bbox="454 1444 774 1780"> <p>「困った時はお互いさま」を合言葉に助け合いをしましょう 暮らしの困りごと お手伝いします 白根お互いさま支援隊 <small>白根地区民生委員協議会</small></p> <p>お一人暮らしやご高齢の方の困り事(生活支援)を行います。 お困りごとがある方はお気軽にご相談ください。</p> <p>対象者 白根地区にお住まいの方で ・一人暮らしの高齢者 ・高齢者かみの剪髪 ・お体の不自由ななど ・ごみ出し ・車椅子 ・障がい者手帳の交付</p> <table border="1"> <tr> <td>ごみ出し</td> <td>毎週土曜日(18時) 白根町協会で約10人参加</td> </tr> <tr> <td>剪髪</td> <td>一人1時間50分 月2回実施</td> </tr> <tr> <td>車椅子</td> <td>一人1時間30分 月2回実施</td> </tr> <tr> <td>車椅子</td> <td>一人1時間30分 月2回実施</td> </tr> </table> <p>料 金 一人1時間の作業で500円ですが、活動時は2人1組でお伺いするため、二人1組1時間の作業で1,000円に なります。 ※支援する人は地域の住民の方が無償のボランティアとして活動を行います。</p> <p>【ボランティアさんを募集します】 少しでも時間のある方、お合のよい方だけ、ご参加をお願いします。 ボランティアであるから、是非是非お届へご連絡ください。</p> </div> <div data-bbox="119 1780 571 2116">  <p>合同防災講座</p> </div>	ごみ出し	毎週土曜日(18時) 白根町協会で約10人参加	剪髪	一人1時間50分 月2回実施	車椅子	一人1時間30分 月2回実施	車椅子	一人1時間30分 月2回実施	<p>○白根お互いさま支援隊立ち上げについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前からお互い様を立ち上げたいと考えていた。組織体制はこれからだが、立ち上がったことで1歩前進できた。 <p>○防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起震車の体験や、心肺蘇生研修等多くの経験ができた。定期的な訓練を行うことで、気づく点が多くなってきた。 <p>新たな地域課題や取り組んだこと</p> <p>民生委員の活動の周知、自治会長との顔の見える関係づくり</p> <p>次年度への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白根お互い様支援隊の組織体制づくり ・白根お互い様支援隊×防災を組み合わせて支え合いをつくっていく ・白根地区代議員会にて、民生委員及び自治会長、地区社協の顔合わせ
ごみ出し	毎週土曜日(18時) 白根町協会で約10人参加								
剪髪	一人1時間50分 月2回実施								
車椅子	一人1時間30分 月2回実施								
車椅子	一人1時間30分 月2回実施								

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和 5年 2月 7日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	B
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	B

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

白根コミュニティ協議会会長:和田様
 白根コミュニティ協議会:木川様、富井様、星野様、武田様
 白根地区社会福祉協議会会長:日浦様
 アクションプラン推進員:長谷川様
 支え合いのしくみづくり推進員:吉村様
 南区社会福祉協議会:阿部(正)、熨斗

【令和4年度 味方地区】 第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容) ※()は推進目標	課題(取り組んでみての)
<p>① アクションプラン打合せ 5/18 (地区別計画全体)</p> <p>② 支え合いのしくみづくり会議の開催 5/18、7/6、8/18、9/20、11/1、12/6、 1/20、2/17、3/30 (支え合い)</p> <p>③ 防災訓練 7/9 (防災)</p> <p>④ 敬老会事業 9/17 (支え合い)</p>	<p>○敬老会事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場設営や送迎方法に課題が残り、来年度以降やり方を見直しが必要 ・運営側の役割分担が不十分だったため、当日指示する人や誰が何をしなければいけないかを予め決めておく必要がある <p>○高齢者見守り活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の欠員があり、状況把握が難しい地区があり、支援が必要な方を見逃す恐れがある <p>評価(取り組んだことの効果や成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍前は3地区別々に開催していた敬老会を3年ぶりに3地区合同で開催し、児童館の子ども達の参加や様々な出し物が見れてとても好評だった ・敬老会に来られない方のご自宅に記念品をお配りしながら見守り活動を行った
<p>写真(取組みの様子)</p>  <p>よしえっこ</p>  <p>支え合いのしくみづくり 会議</p>  <p>アクションプラン打合せ</p>	<p>新たな地域課題や取り組んだこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流を軸に一部地域の茶の間で高齢者と小学生による高齢者疑似体験を実施するなど交流会を開催した <p>次年度への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬老会は実行委員会や企画委員会など中心となるところを考え、今年度の課題を改善できるように開催を検討する ・今年度と同様に敬老会に来られない米寿の方には見守り訪問活動を実施する ・味方地区に合った支え合いの活動の取り組みを組織や団体等関係者と連携して作っていく

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和5年2月17日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成(50%未満)

<参加者>

コミュニティ協議会:高橋会長、山崎事務局長
 地区社会福祉協議会:堤会長、山田事務局長
 地域福祉アクションプラン推進委員 :仲山推進員
 (支え合いのしくみづくり推進員)
 南区社協 :土田

計6名

【令和4年度 月潟地区】 第3期南区地域福祉アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

実績(取り組み内容) ※()は推進目標	課題(取り組んでみての)
<p>① アクションプラン打合せ 6/2 (地区別計画全体)</p> <p>② アンケート調査を実施 しくみづくり会議構成員である組織や団体から考えられるアイデアを出してもらった (支え合い)</p> <p>③ 月潟地区社協「福祉と健康の集い」 11/12 (支え合い)</p> <p>④ 自主防災会防災講座 12/11 (防災)</p> <p>⑤ 安心箱配布事業 12/15 (支え合い)</p> <p>⑥ 世代間交流事業 12/22 月潟中学校の総合学習で学生と地区社協でブラインドサッカーを実施 (参画推進)</p> <p>⑦ 地域活動の紹介 コミ協通で様々な団体や組織の活動や役割を紹介 (情報発信)</p>	<p>・組織や団体の担い手不足や行事参加者が少ない</p> <p>・地域における組織や団体、個人の役割が不明確</p> <p>・地域の茶の間の高齢化による参加者の減少や運営方法</p> <p>・地域の担い手の変化に伴う組織・団体に対して地域福祉活動を継続していくためにわかりやすい説明の工夫が必要</p> <p>・防災を接点に小中学校での防災教育の推進</p> <p>・子育て世代が地域福祉の理解に関心を持つ取り組みの工夫</p> <hr/> <p>評価(取り組んだことの効果や成果)</p> <p>・学校への働きかけにより学生の芸能祭への参画に繋がり多世代交流の機会ができた</p> <p>・バス運行協議会への働きかけにより、住民バスでのシルバーチケットが月潟出張所でも発行できることになった</p>
写真(取組みの様子)	新たな地域課題や取り組んだこと
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>福祉と介護のつどい</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>月潟中との世代間交流</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>防災講座</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>安心箱配布事業</p> </div> </div>	<p>・茶の間で小学生と高齢者が共に高齢者体験を行い、介護予防の重要性や高齢者の気持ちを理解する取り組みができた</p> <hr/> <p>次年度への引き継ぎ</p> <p>・次年度は推進目標1「支え合いのしくみづくり」を重点的に他機関も巻き込みながら取り組んでいく</p> <p>・各自治会によって考え方や年齢は様々だが、支え合いのしくみを提案しながら働きかけを行う</p> <p>・今年の課題から実現したいことを地区内で伝えながらできるところから協働して取り組んでいく</p> <p>・保健会解散により地区担当保健師から茶の間の参加の促しを行っていく</p> <p>・地域活動の情報発信を継続的に行っていく</p>

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

※地域の皆さんで行った地区別計画推進についての評価となります

<確認日:令和5年2月 2 日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりが出来たり、活動に広がりがあったりしましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>

コミュニティ協議会:金子会長
 地区社会福祉協議会:田邊会長、角田副会長、渡辺(会計)
 地域福祉アクションプラン推進委員 :泉田委員
 (支え合いのしくみづくり推進員)
 南区社協 :土田、荏原

計 7 名